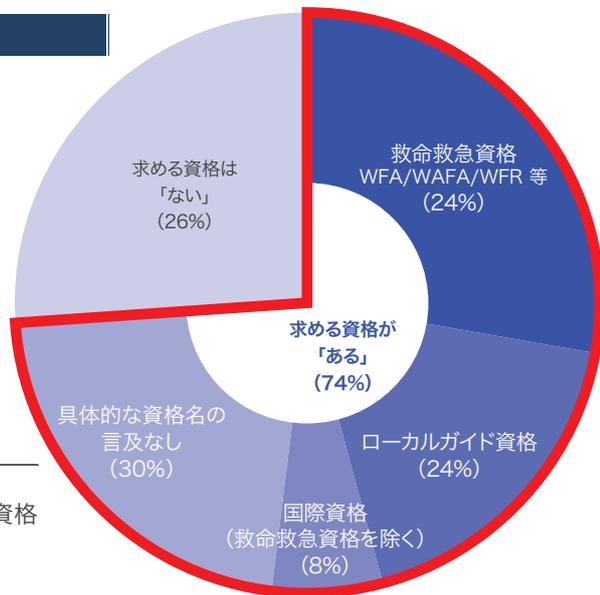


WHAT DO OPERATORS REQUIRE WHEN CHOOSING A GUIDE?

ATWS 参加オペレーターに聞く ガイドを手配する際に求める資格は？

分野	資格名
山岳	IFMGA (国際山岳ガイド連盟) 国際山岳ガイド資格 CONAF (チリ国立森林公社) 関連資格 SERNATUR (チリ国家観光局) 登録ガイド資格 ASEGUIM (アルゼンチン山岳ガイド協会) 山岳ガイド資格 WFA/WAFA/WFR ローカルガイド資格*1
自然	PN (Parque Nacional : 国立公園関連資格) WFA/WAFA/WFR 北海道アドベンチャートラベルガイド資格 ローカルガイド資格*1
サイクリング	JCA (日本サイクリング協会) 公認資格 WAFA ローカルガイド資格*1
カヌー SUP ラフティング	IRF (International Rafting Federation) ガイド資格 PADI (Professional Association of Diving Instructors) 資格 SRT (Swiftwater Rescue Technician/急流救助技術資格) WFA/WAFA/WFR ローカルガイド資格*1



*1 ローカルガイド資格とは、特定の地域において、国・自治体・地域団体・管理機関等が定める基準に基づき認定されるガイド資格です。

EVEN IF NOT REQUIRED, WHAT OTHER QUALIFICATIONS ARE PREFERRED?

必須ではないが、ガイドを手配する際に重視する資格やスキルは？

分野	資格名	スキル
山岳	IFMGA国際山岳ガイド資格 Spain TD3 (スペイン国家資格上級) 公益社団法人日本山岳ガイド協会の登山ガイド資格 バックカントリーAccess社雪崩安全インストラクター ローカルガイド資格*1	フィールド特性を踏まえた判断 地域の山岳環境への理解 旅程管理能力
自然	国立公園や自然保護区の登録ガイド資格 Leave No Trace (自然環境配慮の国際行動原則) ローカルガイド資格*1	自然配慮・持続可能性への意識 地域の自然・文化を伝える工夫
サイクリング	公益社団法人日本サイクリング協会の資格 整備士・メカニックの資格 サイクリング引率・安全管理資格	交通環境を踏まえた安全配慮 ルート設計・集団管理
カヌー SUP ラフティング	国際ラフティング連盟 (IRF) ガイド資格 PADIダイビング資格 (国際標準) SRT (急流・増水河川での救助技術者資格) カヤック安全・操作に関する認定資格 ローカルガイド資格*1	水域リスクの読み取り 状況変化への対応、 言語能力

KEY INSIGHTS

- 安全管理・応急対応は、分野や地域を超えて共通して求められる基礎的な資格である。
- 地域の自然環境や制度を理解した「ローカルガイド資格」も、多くの分野で求められている。
- 自然分野において重視するスキルとして、自然保護や持続性への配慮が多く挙げられた。

*本調査は、過去に ATWS へ参加経験のあるアドベンチャートラベル関連の海外オペレーター等 50 名を対象に実施したヒアリング結果に基づいています。うち 42 名は、「ATWS 2025 (2025 年 10 月 13 日~16 日、チリ開催)」の参加者です。

*本資料は、インバウンド市場でガイド資格がどのように評価されるのかを考えるための参考資料です。

*本資料は、「令和7年度ガイドを利用した観光・旅行の需要拡大に向けた実証事業」(国土交通省北海道運輸局)の一環として実施したものです。

救急救命資格の例：WFA / WAFA / WFR

(1) 概要

- 救急車がすぐに到着できず、避難や搬送に時間がかかる野外環境を前提に、安全管理と応急対応を学ぶ国際資格。
- 1980年代に北米で体系化され、現在はWMA (Wilderness Medical Associates) など複数団体が実施。WMA Japanは北海道でも過去に国立日高青少年自然の家等での講習実績があり、日本国内で取得可能。

(2) 主となる3コース

	WFA	WAFA	WFR
位置づけ	野外救命の基礎	現場対応の実務	高度対応の上位証明
総学習時間	20時間レベル	40時間レベル	80時間レベル
想定 of 野外環境	通信可能・日帰り中心	通信可能・避難1日以上	通信困難・搬送技術が必要
有効期限	3年間	3年間	3年間
対象者	16歳以上の方	16歳以上の方	WAFA/WFRの保有者

*参加費用や実施期間、受講形態(対面/オンラインなど)は、実施団体や開催内容によって異なるため、最新情報は各団体の案内を参照してください。

(3) 取得メリット

- 国や分野を超えて通用する安全基準を示せる。
- 野外活動での現場判断力を客観的に証明できる。
- ガイドとしての信頼性を第三者基準で担保できる。



ローカルガイド資格の例：北海道アウトドア資格制度

(1) 概要

- 日本で唯一の公的なアウトドアガイド資格制度。
- すべてのアウトドアガイドに必要な全般的な知識を問う「北海道アウトドア検定」、専門分野ごとの知識を深く問う筆記試験、そして実際のフィールドで技術・リスクマネジメント能力・ガイド適性を確認する実技試験という三段階の審査を経て認定。
- 取得には一定の実務経験が必要とされ、金額よりも現場経験や実践力を重視。

(2) 取得要件(認定分野と申請要件)

	アクティビティガイド	スルーガイド
役割	フィールドで体験を実施・案内するガイド	旅全体に同行し、調整・案内を行うガイド
認定分野	山岳/トレイルライディング/ラフティング/ カヌー/自然/SUP/サイクリング/ サイドカントリー/バックカントリー	分野指定なし
申請要件	<ul style="list-style-type: none">北海道アウトドア資格、または民間ガイド資格+北海道アウトドア検定合格救命救急講習の修了一定の実務経験(直近2年など)推薦者の推薦	<ul style="list-style-type: none">北海道アウトドア検定の合格英語能力の証明知事が認定する研修の終了旅程管理主任者資格の保有(国内/総合)救命救急講習の修了一定の実務経験(直近2年など)

(3) 取得メリット

- 質の高いサービスを提供するための知識・技術・経験を有するガイドとして認定される。
- 安全を第一に、環境に配慮できる能力を備えたガイドであることを示せる。
- 北海道の自然・歴史・文化を理解した「ローカルガイド」として公的に認められる。

